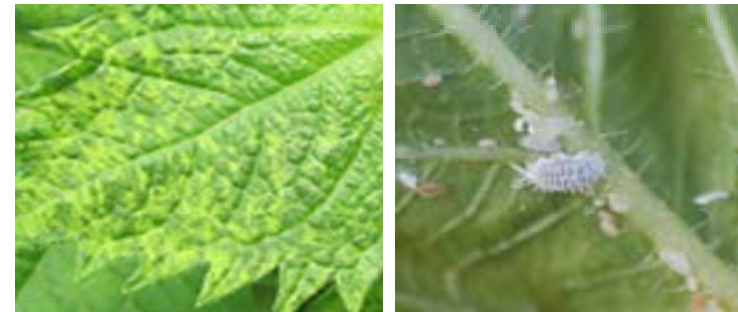


## ◆オオバに発生する病害虫の新規防除資材を活用した総合防除体系の確立 (2011～2013年度)

共同研究機関: 高知県農業技術センター(中核機関)、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター、国立大学法人 高知大学

研究概要: 主要病害である斑点病やさび病に対し、ハウス内環境制御による発病抑制技術を開発する。また、モザイク症の原因究明を行い防除技術を開発する。マデイラコナカイガラムシに対する土着クサカゲロウの利用等生物的防除技術を検討し、他の害虫も含めた総合的な防除体系を開発する。さらに、主な病害虫を対象に農薬の防除効果や作物残留を調査し農薬登録促進に取り組む。開発された技術は、現地実証により総合防除体系に組み立てる。



### 課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



高知県農業  
技術センター  
広瀬 課長

申請書の作成にあたり中国四国農林水産・食品先進技術研究会からは、共同研究の構成グループの妥当性や、マイナー作物に関する技術開発の提案方法等について有用なアドバイスを頂きました。また、プレゼン資料については、スライドの構成順や要点のインパクト等に関して頂いたアドバイスを頂いたおかげで、落ち着いて二次審査に臨むことができました。

当センターは中核機関として応募した経験が1度しかなく、戸惑うことが多かったのですが、お陰さまで無事採択され、大いに感謝しております。